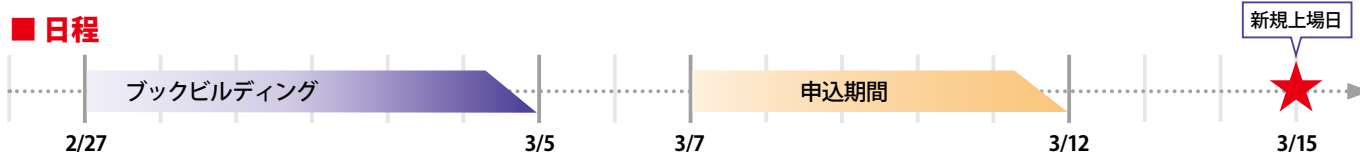


## IPO銘柄 ウォーターダイレクト (2588・マザーズ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
2588	100株	公募: 25.0万株 売出: 0万株 (OA3.75万株)	1,000円~1,200円 (12.6倍)	野村証券



### 富士山麓から採水したナチュラルミネラルウォーターを宅配

#### ■ 事業内容

富士山麓から採水したナチュラルミネラルウォーターを宅配するホーム・オフィス・デリバリー事業を手掛ける。主力商品は12リットル入りの「CLYTIA25」。定期便で販売しているため計画生産が可能で、基本的に在庫を持たずに経営を行う。計画生産によって採水から3日以内という、鮮度の高い状態で顧客宅に配送することも可能としている。顧客は家電量販店や百貨店などへブースを設置してのデモンストレーション販売、または訪問販売で獲得。直接販売のほか、取次店や代理店、特約店などを通じての販売も行っている。ホーム・オフィス・デリバリー事業の単一業態。

#### ■ 特徴

富士箱根伊豆国立公園内にある富士吉田工場に水源を有し、約200メートルの深さの井戸から採水。バナジウムを豊富に含有しており、一方で水質汚染の尺度となる硝酸性・亜硝酸性窒素の含有量は水道法で定められた基準を大幅に下回る軟水をくみ上げている。同社ではこのナチュラルミネラルウォーターを井戸から工場に直接引き込み、非加熱殺菌工程を経てボトルに充てんしている。

### アナリストコメント

#### ■ 定量分析

13年3月期の連結経常利益は前期比30.4%増の3億1,200万円を計画。東日本大震災後の原子力発電所事故を受けて飲料水への不安感が広がったことで需要が急増。12年3月期は経常利益が2億3,900万円と前々期比6.3倍の高成長となっていた。

#### ■ 定性分析

ボトルウォータービジネスを手掛ける既上場企業も前期に業績が飛躍。成長率という観点ではややピークアウト感がある。ただ、株価は上昇基調を継続しており、不人気業種というわけでもない。IPO（新規上場）マーケットの活況展開に乗って初値買い人気は高まりそうだ。

#### ■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は約3.5億円。非常に小規模な吸収額だが、ベンチャーキャピタル保有株が多く存在しており、それに掛かるロックアップは公開価格の1.5倍で解除される。見た目ほどの需給妙味はないが、地合いを考慮すれば吸収可能な規模とみる。  
(小泉健太)

#### ■ 類似企業

ウォーターダイレクト(2588・マザーズ)	予想PER12.6倍 (仮条件上限)
ナック(9788・東証1部)	予想PER10.2倍
ダイオーズ(4653・東証1部)	予想PER10.9倍

#### ■ 引受証券

野村証券、みずほ証券、SBI証券、いちよし証券、高木証券、SMBC日興証券

## 業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
11年3月期(実績)	1,782	▲48.9	37	▲63.2	▲36	赤転	-18.4	0.0
12年3月期(実績)	5,471	3.1倍	239	6.3倍	247	黒転	124.1	0.0
13年3月期(会社予想)	7,008	28.0	312	30.4	190	▲22.9	95.0	0.0

※ 12年12月26日に株式分割(1株→100株)を実施。11年3月期および12年3月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
11年3月期	19,910	2,701	478	790	240.3	17.7	—
12年3月期	19,910	3,379	723	790	363.3	21.4	41.1

※ 11年3月期および12年3月期のBPSは遡及修正

## 大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	日本テクノロジーベンチャーパートナーズアイ六号投資事業有限責任組合	368,700	16.60
2	野村信託銀行 信託口2052130	196,600	8.85
2	野村信託銀行 信託口2052131	196,600	8.85
4	ピグマリオン1号投資事業有限責任組合	192,100	8.65
5	アイケアジャパン	190,000	8.55
6	ジャフコ・スーパーV3共有投資事業有限責任組合	162,000	7.29
7	サイサン	132,000	5.94
8	リヴァンプ	113,000	5.09
9	日本テクノロジーベンチャーパートナーズP2号投資事業組合	92,300	4.15
10	コスモライブ	90,000	4.05

## 経営陣

役職	氏名
代表取締役執行役員社長	伊久間 努
取締役執行役員生産・開発部長	武井 道雄
取締役	村口 和孝
取締役	藤野 英人
取締役	湯浅 智之
常勤監査役	加藤 次夫
監査役	有田 知徳
監査役	手嶋 伸也

# モーニングスターIPOレポートの読み方

## 特 徴

モーニングスター IPO<sup>(※1)</sup> レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング<sup>(※2)</sup> が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

## 項目説明

### ■ 事業内容

新規上場する企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

### ■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

### ■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

### ■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

### ■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

### ■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。

## 本資料のご留意事項

- ・本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- ・本資料は、SBI証券が、モーニングスター株式会社が信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。
- ・本資料の著作権、知的所有権等一切の権利はモーニングスター株式会社並びに Morningstar.inc に帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

## 手数料およびリスク等について

### 国内株式取引の手数料

- ・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載しておりません）。詳しくは、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

### 国内株式取引のリスク情報について

- ・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- ・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
- ・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

### 留意点

- ・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の取扱店までお問い合わせください。
- ・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書はSBI証券のホームページで入手いただけます。

商号等：株式会社 SBI証券 金融商品取引業者

登録番号：関東財務局（金商）第 44 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会